

取扱説明書

DAYTONA corp.

R77036①/⑦

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

強化カムチェーン 82L	適応車種	商品NO.
	モンキー/カブ系の50~70ccエンジン（ノーマル長シリンダー）	77036

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってあります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

- 警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
- 注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

警告

- ・ 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ・ **禁止** ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- ・ この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- ・ この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

- ・ **実施** 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- ・ 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる場合があります。

注意

- ・ **実施** この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意いただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- ・ 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- ・ 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- ・ 取り付けは確実に行ってください。又走行中ネジ部等緩む事のないように、規定トルクで確実に締め付けてください。



- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約100km走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約500km毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。



- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道の制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。



- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をすることがあります。また、本文中で紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。

本商品の特徴

- モンキーノーマルカムチェーンは「25」サイズです。これに対しリンクプレートの厚い「25H」サイズの強化カムチェーンです。
- ボアアップエンジンに対応させるため、充分な引張強度を確保し、チェーンの伸びが発生しにくくなっています。
- ノーマル～ハイパーヘッド110ccクラスのエンジンに対応します。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	強化カムチェーン	82L	1

取付手順

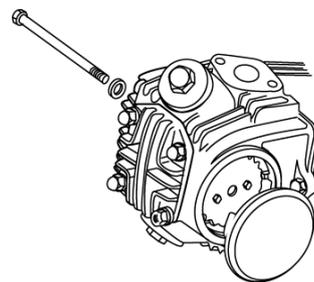
One Point!

※ボアアップキットの装着と同時に行うことで作業を簡略できます。

1.

【Lサイドカバーを外します。】

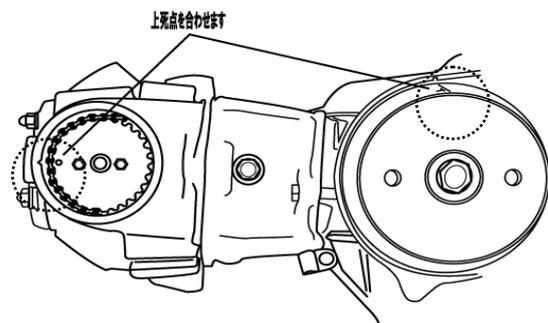
Lサイドカバーが貼り付いて外れづらい場合は、固定ボルトをサイドカバーに対しネジ部を半分ほどかかった状態にし、ボルトの頭をプラスチックハンマーでたたくと容易に外す事が出来ます。



2.

【上死点を合わせます。】

フライホイールの 'T' マークをクランクケースの上側【右図の位置】切り欠き部に合わせた時に、カムプロケットの 'O' マークがシリンダーヘッドの切り欠きに合う位置が、ピストンが一番上に達している位置になります。



3.

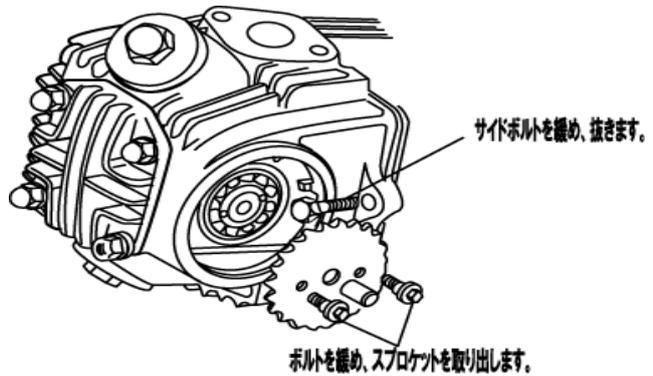
【カムスプロケットを外します。】

カムスプロケットを固定しているボルト【M5×2本】を外しカムスプロケットを引き抜きます。

カムスプロケットを外す際は、ボルトを抜いた穴2箇所をラジオペンチでつまみ、手前に引き出すよう作業を行ってください。

その後、サイドボルトを緩めシリンダーヘッドより抜き取ります。

サイドボルトは再使用します。



4.

【シリンダーヘッドの取り外し】

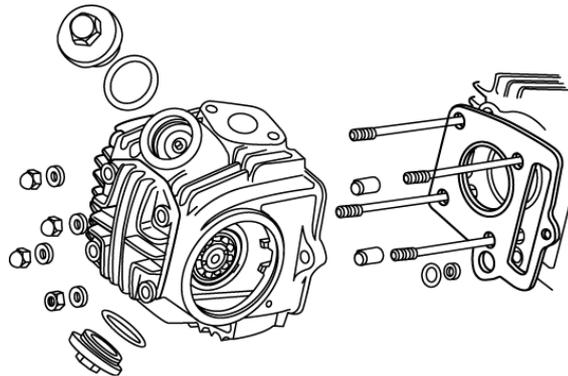
シリンダーヘッドを締め付けている、袋ナット【3個】・ナット【1個】を対角線に緩め、ワッシャー【スチール3枚・銅1枚】も取り外します。タペットキャップも取り外します。

その後、シリンダーヘッドを引いて抜き取ります。

ガスケットが貼り付いている等で、ヘッドが抜けづらい場合は、プラスチックハンマーで、ヘッド本体を軽く叩きながら、シリンダーヘッドを引き抜いてください。

One Point!

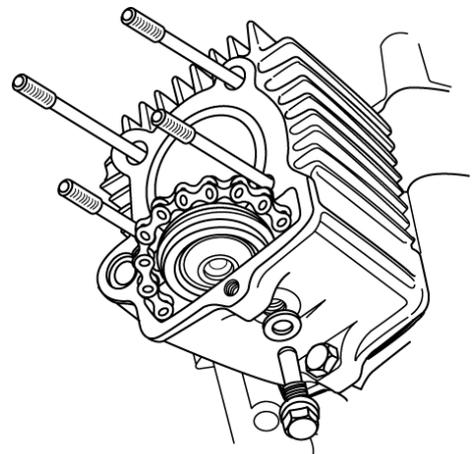
作業の際、フロントタイヤのエアを抜き、フロントフェンダーを取り外します。こうすることでエンジンを降ろさずに作業することが可能となります。



5.

【カムチェーンガイドローラーの取り外し】

シリンダーが抜けないう、ガイドローラー固定ボルトを緩めガイドローラーをカムチェーントンネル部上部より取り外します。



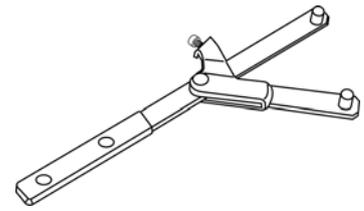
6.

【Lクランクケースカバーを取り外します。】

図3本の六角ボルトM6を外し、Lクランクケースカバーを取り外します。

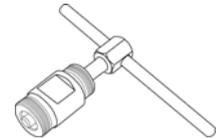
7.

シザースホルダーで周り止めをし、フライホイールセンターナットを外します。

One Point! 品番 36469 シザースホルダー¥3,465 が使用できます。

8.

フライホイールプーラーを使用し、ノーマルフライホイールを取り外します。

One Point! 品番 44686 フライホイールプーラー¥2,625 を使用できます。

9.

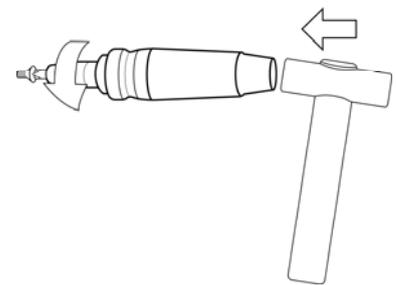
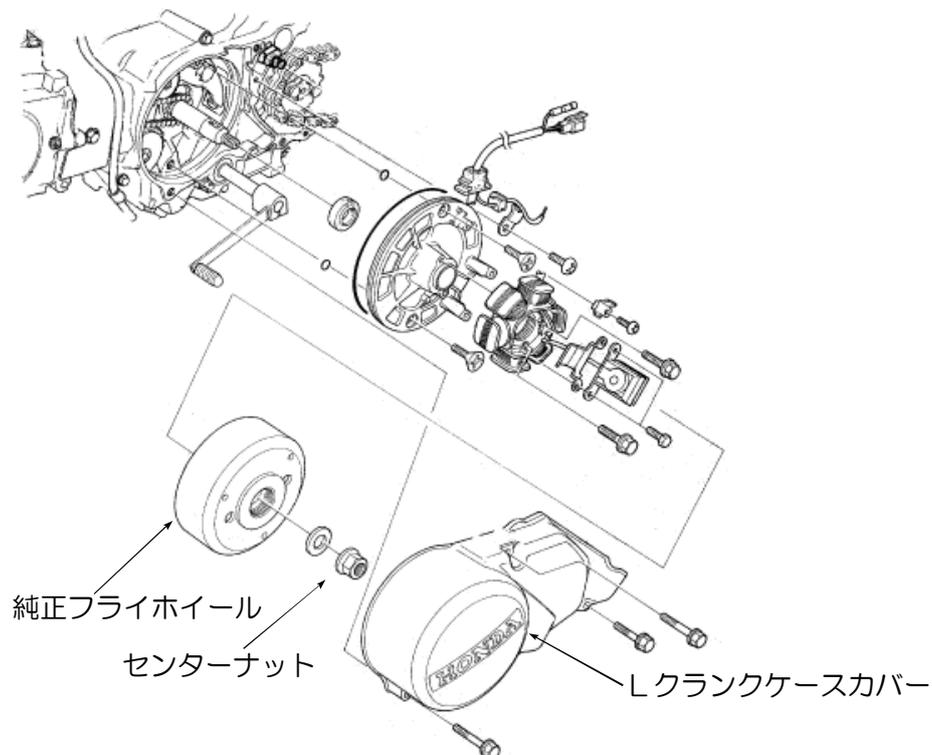
チャージコイルから出ている配線をゴムブーツ内の配線集合部にて取り外します。

10.

ステータベースを固定している2本のプラスネジ（M6皿ねじ）を緩め取り外します。

⚠注意

2本のプラスネジは非常に舐めやすい為、インパクトドライバー又は、サイズの合ったドライバーを使用し、注意して作業してください。

**[分解図]****[ローターの取り外し]**

- ①シザースホルダーでフライホイールが周らないように固定し、ソケット（14mm）でセンターナットを緩めて取り外します。
- ②フライホイールセンターのネジ切り部にフライホイールプーラーをねじ込み、シャフトを緩めてフライホイールを取り外します。

11.

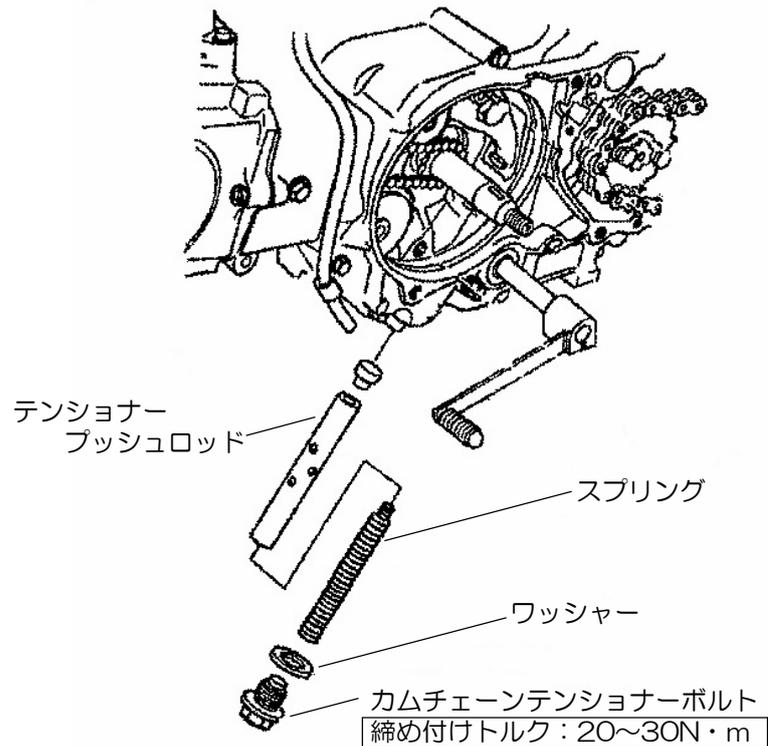
【テンショナープッシュロッドの取り外し】

カムチェーンテンショナーボルトを緩めて抜き取り、スプリングとテンショナープッシュロッドを外します。

12.

カムチェーンを後方に引っ張るようにしてカムチェーンを抜き取ります。

[オートテンショナー分解図]



13.

【①強化カムチェーンの組み付け】

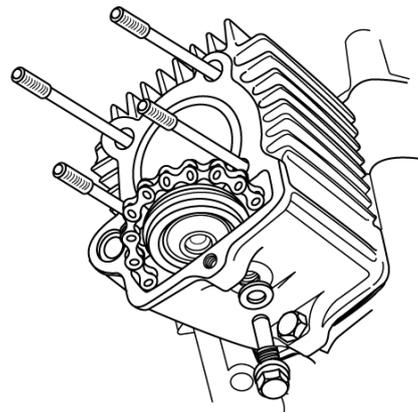
①強化カムチェーンを外した時の逆方向から組み付け、シリンダー上部に通します。

14.

【シリンダーにカムチェーンガイドローラーを装着します。】

シリンダーが抜けないう、シリンダーを押さえながら、チェーンを引き出し、ガイドローラー固定ボルトにてガイドローラーを装着します。

■ ガイドローラーボルト締め付けトルク
: 8Nm~12Nm



15.

【シリンダーヘッドを装着します。】

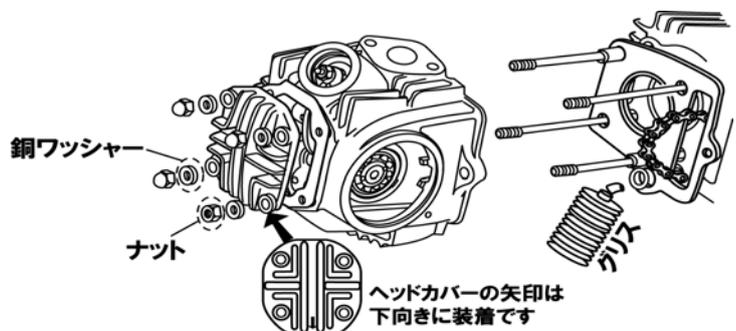
ノックピン(Φ8×14: 2個)を右クランクケース上側、左クランクケース下側(Φ8×14)のスタッドボルトに通し、シリンダーへ差し込みます。

ヘッドガスケット(金属)を装着し、Oリング(オレンジ色)にグリスを塗布し、下図の位置に装着します。

シリンダーヘッド・ヘッドカバーガスケット・ヘッドカバーの順で装着します。

取外した、シリンダーヘッドを締め付けていた袋ナット3個・ナット1個・スチール製平ワッシャー3枚・銅ワッシャー1枚を使用し、下図の装着箇所へ規定トルクにて締め付けを行ってください。

■ シリンダーヘッド締め付けトルク
: 8Nm~12Nm



16.

【カムチェーン sprocket の装着を行います。】
シリンダーヘッドサイドボルトを規定トルクで締め付けます。

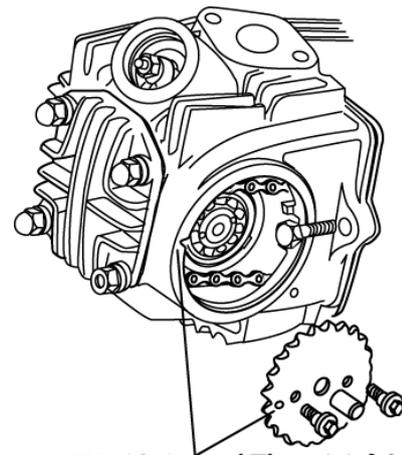
■ サイドボルト締め付けトルク：8Nm～12Nm

カムシャフトの中心にノックピン(Φ8×12：1個)を組み込みます。

組み付け手順2で行ったように、フライホイールの“T”マークをクランクケース側切り欠きにあわせませす。

“T”マークをあわせたまま、①強化カムチェーンにカムチェーン sprocket を取り付け、カムチェーン sprocket の“O”マークとシリンダーヘッドの切り欠きを合わせ、カムシャフトの位置を調整して、カムチェーン sprocket 固定ボルトを規定トルクで締め付けます。

■ カムチェーン sprocket 締め付けトルク：8Nm～12Nm

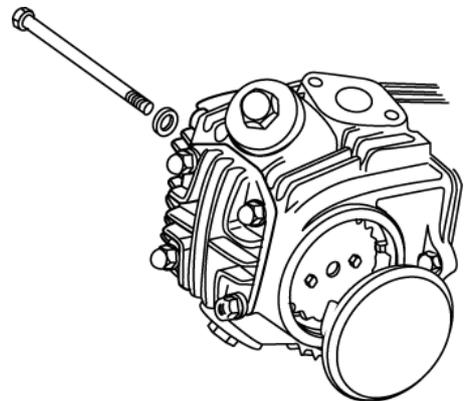


フライホイールの“T”マークを合わせ sprocket の“O”印とヘッドの切り欠きを合わせ装着します。

17.

【Lサイドカバーを取り付けます。】
Lサイドカバーを取り外しと逆の手順で取り付けます。

■ M6 ボルト締め付けトルク：8Nm～12Nm



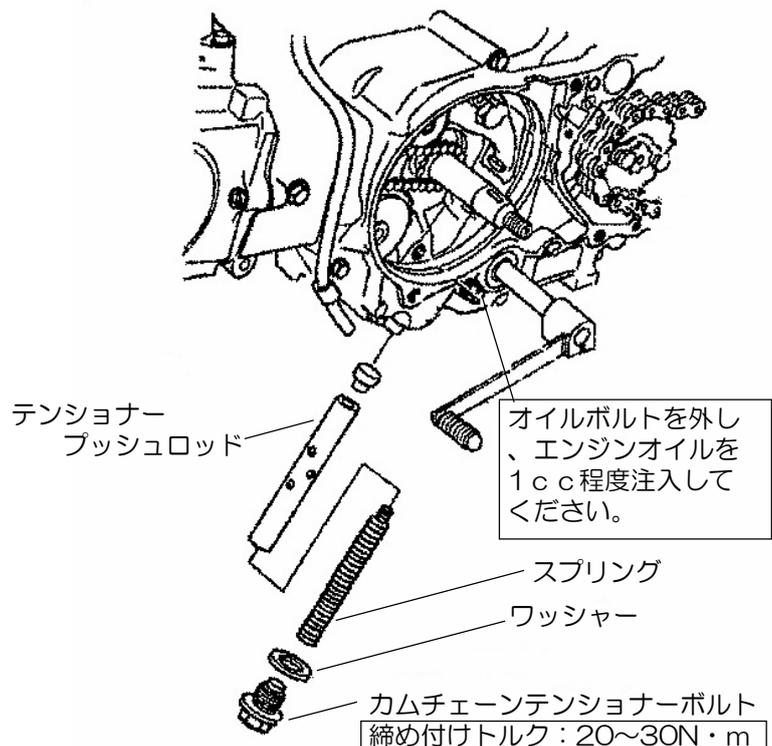
18.

【カムチェーンテンショナーの取り付け】
取り外しの逆の手順でテンショナープッシュロッド、スプリング、テンショナーボルトを組み付けます。

■ カムチェーンテンショナーボルト締め付けトルク：20Nm～30Nm

■ オイルボルト締め付けトルク：10Nm

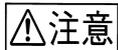
[オートテンショナー分解図]



19.

クランクケースに O リングを付け、ステーターコイル ASSY を、サラネジ M6 (2 本) にて、クランクケースに取り付けます。

■サラネジ締め付けトルク : 0.8~10N・m



コイルベースをクランクシャフトに通す際、ウッドラフキーに引っ掛けて、オイルシールのリップ分がめくれられない様に注意してください。

20.

ウッドラフキーがクランクシャフトの溝部に確実に取り付けられていることを確認し、フライホイールをクランクシャフトに取り付けます。シザーズホルダーで固定しながら、純正センターナットを締めて固定します。

■純正センターナット締め付けトルク : 30~38N・m

One Point!

ローター位置がずれた状態で締めこまないよう注意してください。

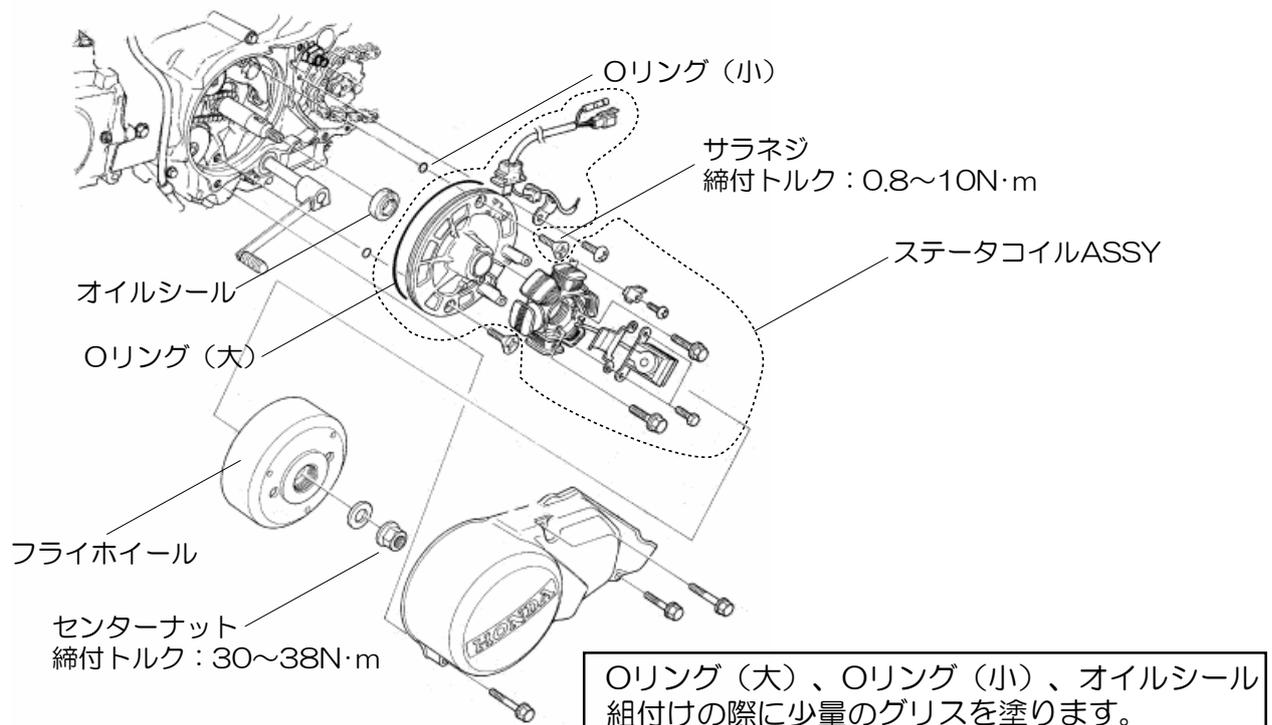
21.

ステーターコイル ASSY から出ているニュートラル配線をニュートラルスイッチに差込み、グロメットをクランクケースにはめます。

22.

ステーターコイル ASSY から出ている配線を純正ハーネスに接続し、グロメットをクランクケースにはめます。クランクケースカバーをもとのように取り付けます。

[組付け図]



23.

外した部品を元にもどし、作業は完了です。